

J R不採用問題解決に向けた「政府の解決案」に対する

4者・4団体の見解

4月9日、国鉄改革に伴う1047名のJR不採用問題について政府から正式に解決案が示された。

本解決案は、4者・4団体が政治解決にあたって求めていた「路頭に迷わない解決」という要請の主旨に沿った内容であり、4者・4団体は政府の解決案を受け入れることをここに表明する。

この度の解決案は、これまで与党三党と公明党の努力により、積み上げられた解決案に基づいて政府内で調整がなされた結果、まとめられたものである。

本問題の解決にご尽力をいただいた各政党及び関係国会議員の皆さんに、衷心より厚く御礼を申し上げるものである。

JR不採用問題は戦後最大の労働事件として争われ、実に24年に及ぶ、長期の紛争である。政治解決を求め、一致結束してきた4者・4団体の団結と人道問題を放置しないとする政治の力によって解決への扉が開かれた。それだけに原告らが待ち望んだ解決を迎えることは感慨無量のものがある。

私たちにとって何よりも忍びないのは、解決を見ることなく、無念にも家族を残してこの世を去った国労、全動労の被解雇者60名の原告らと今日の日を迎えることが出来なかったことである。失った日々をもはや取り戻すことはできないが、本件の解決を契機としながら、原告らは勿論のこと、遺族らにとっても、人生の再出発がはかれるものと固く信じてやまない。

4者・4団体は、これまでご尽力いただいたすべての関係者・関係団体に重ねて御礼申し上げるとともに、雇用問題を含む全面的な解決にいたるまで引き続きご支援・ご協力をお願いする次第である。さらに、かかる不幸な紛争が将来にわたって二度と起きることのないよう心から切望するものである。

2010年4月12日

4者・4団体

【4者】

国労闘争団全国連絡会議

鉄建公団訴訟原告団

鉄道運輸機構訴訟原告団

全動労争議団鉄道運輸機構訴訟原告団

【4団体】

国鉄労働組合

全日本建設交運一般労働組合

国鉄闘争支援中央共闘会議

国鉄闘争に勝利する共闘会議